

# 四輪駆動マイクロバスが持つ 大いなる可能性を生かし、 災害時に役立てたい。

株式会社深澤自動車修理工場  
深澤昌弘 代表取締役社長

## 「こんな車が欲しい」 自身の経験が開発の出発点に

弊社は創業から68年を数える自動車修理工場です。中でもトラックやバスなどの大型車の修理・メンテナンスを得意としています。国内トラックメーカー4社より協力工場として認定を受けており、その技術は高く評価いただいています。ゆえに大型車の仕組みや特性は熟知しており、その特化した技術を生かして四輪駆動マイクロバスの開発に乗り出したのですが、きっかけとなったのは私自身の経験でした。

実は私はバイクレースでもあり、レースに参戦するため日本各地を回っていました。遠征先へバイクと共に移動し何日も滞在するのですが、色々不便で。それでバイクを

載せられて寝泊まりもできる車があったら、と思ったのです。それも四輪駆動のバスなら雪道や山道も走れ、さらに便利だと。そんな時、

東日本大震災が発生しました。瓦礫だらけの被災地の映像を目にし、ふと自分が思い描く車なら、災害時に避難や移動にも利用できるのではないかと考えたのです。

## 海外メーカー製のキットに着目 日本製マイクロバスを四輪駆動に

かつては日本の大手メーカーも四輪バスを作っていましたが、需要の低下で生産中止に。数年前に復活はしましたが、災害時や降雪時などの悪路を走るには性能が不十分なため、もっと走行性が高いものを自社で作ろうと決心しました。しかし一から作るには時間も費用もかかりすぎます。そこで着目したのが、オーストラリアの「Bus 4x4 Global Pty Ltd」社（以下、4x4社）が作る四輪キットです。これを性能の良い日本製車両へ組み込んで、自分が理想とする四輪駆動マイクロバスを作ろうと。早速語学が堪能な友人の協力を得て、メールを送りました。しかし、何度送っても相手にされなくて。粘り強くアプローチを続け、半年後ようやく面会が叶いました。



## 試行錯誤を繰り返す日々 それでもできるという確信があった

オーストラリアまで出向いたものの、初めは工場も見せてもらえなかったため、必死で私どもの技術力をアピールしました。何とか購入にこぎつけ、ショートボディ<sup>※</sup>用とロングボディ用を注文したのですが、届いたのは同じロング用が2つ。しかも現地で見たと同じ車につけようとしても、全く合わない。その時に初めてショートボディのバスは海外に無く、同じ日本車でも輸出用と国内用では仕様が大きく異なるを知ったのです。

それからは試行錯誤の連続でした。英語のマニュアルはよく理解できない。再度訪問し研修を受けても、現地の社員は各自ノルマを果たせば終業となり、すぐに帰宅してしまうためほとんど教えてもらえない。それでも、持てる知識や技術を駆使すれば必ずできると信じ、この四輪バス開発を弊社の新規事業として経営革新計画を作成。2017年12月に県の承認を受けました。そして完成した車は、無事自動車登録もできたのです。

## 大型車を得意とする経験と技 その価値が認められた

試作車にはあらゆる工夫を凝らしました。小回りが利き、住宅地の細い道も入れるショートボディを採用。普通免許で運転できるよう定員数を減らし、災害時以外の活用用途を提案しやすいキャンピングカーに変更。砂地も走れる設計にしました。

出来上がった車を4x4社の社長に見ていただいたところ、大変称賛されました。オーストラリアにはないショートボディ車にキットを適応させた技術、それも実際に公道を走れる状態に仕上げ、自動車登録も済ませた点が評価されたよ

うです。日本での総代理店になって欲しいとのオファーまでいただき、昨年12月には契約を結ぶに至りました。

## 人との縁が支えてくれた 新事業への挑戦

新たな事業への挑戦は友人をはじめ沢山の方々の協力と、多くの縁に支えられました。例えば4x4社との交渉は、面会直前に先方の担当者が退職したため、当初は会う予定のなかった社長と直接行うことができました。自動車登録の際は、以前陸運局に勤めていた方と知り合い、アドバイスをもらいました。人と人がつながった縁と、大勢の協力があったからこそ、実現できたのだと実感しています。

また、社員たちにはオーストラリア出張中の留守を頼みました。正直不安もありましたが、不在中の穴もしっかり埋めてくれました。以来、できる限り皆に任せるようになりました。

## 人々の暮らしを守り、支える 四輪マイクロバスの可能性

四輪マイクロバスは多くの可能性を持っています。例えば弊社の前を走る国道52号線は冬場よく凍結しますが、この四輪マイクロバスであれば、そのような道でもほぼ走行できます。普段は通常のバスとして利用し、災害など非常時には避難用車両とするなど、他にも色々な用途が考えられます。だからこそ、私は本当にこのバスの力を、必要とする人たちへと届けたいと考えています。高齢者や障がいを持つ方など、その暮らしを守り支える手段として、大いに役立てていきたいです。



企業データ

- 会社名 / 株式会社深澤自動車修理工場
- 代表取締役社長 / 深澤昌弘
- 所在地 / 静岡県静岡市清水区興津中町623
- TEL / 054-369-2251 FAX / 054-369-6563
- 創業 / 1951年 ■ 設立 / 1976年
- 事業内容 / 自動車修理、自動車販売
- http://www.r52-fukazawa.com (会社ホームページ)
- http://www.bus4x4.co.jp/ (四輪バス専用ページ)

※前輪の軸と後輪の軸との距離（ホイールベース）が短いもの。  
ショートホイールベースともいう。

